

2011（平成 23）年度 東京大学 入試問題 第 1 問 解答例

- 一 河川の体験は、身体的存在である人間各自が河川空間を歩く際の、風景の知覚による多様な経験の身体意識であるということ。
- 二 人間が多様な空間的経験を積む可能性を持つ河川空間が、既知の概念によって固定化された空間へと再編されるということ。
- 三 河川空間は、樹木の植栽を育成の起点とする庭園と同様に、河川工事の竣工を起点とし、時間を経て自然の力で個性を得るから。
- 四 河川の空間が個性を獲得するには、多くの人々の経験の蓄積と自然の営みとを含む形成段階を長期に重ねていくということ。
- 五 風景の体験は、身体的存在である人間各自の、固定化された概念では捉えられない多様な空間的経験における身体意識である。それは風景を知覚する人間固有の履歴と、多くの人々の経験の蓄積と自然の営みを含む空間の履歴との交差によって構築されるということ。（一二〇字）
- 六 a 跳 b 断片 c 抑圧 d 阻害